

知



知

トラツグミ

鶺鴒ひえの啼く夜のさみしくて

風孕め餓鬼はらめして 捕虫綱

蹲うつむるアサギマダラは いま夢路

毒壺に畳みて拝む 蝶々哉

蝉脱の儀式とばりの闇ふかし

悪餓鬼の日捲る夏をくくりしや

生き物の記憶なくして 尾骨哉

弾※バ機ネ仕掛け 撓しなのないのが命とり

一つ穴 個であることの罪咎とがめ

いみじくも肺魚おほりの泥を吐き

あした死ぬ ひそかに咲けり竹の花

タコツボの亡者首だし 盆に載る

敗戦忌 一銭五厘の旗が立ち

ヒロヒトの言わずもがなかカタルシス*

国敗れ 朕ちん一炊の夢たたむ

代替わり令和ニッポンしばし浮き

※天皇が自らまねいた心的外傷。宮内庁長官に語った反省と心痛の口数の多。

誂えし令和のコイン 首に下げ

飼育箱 教育勅語くちうつし

物言いも鬼籍のくにの民主主義

核のゴミ 国に捨て場のなかりしや

十重二十重かしこどころに 蛆がわき

いの一 番 壁のころもは囚虜とりこ哉

壁とぎす おぬしひとりが馬の骨

御来迎 武器商人は意に充ちて

トランプ氏まばゆくはえて恥の王

国寶の返品ありや 熨斗のしつけて

みぞゆうの 言語障害肩の風

字の読めぬナチの亡者は膝を組む

凶状の法務大臣 数を刎はね

厚労省 飛んだ眉毛を取って付け

財務相 血糊の襟を畳みしや

飼育箱チミモウリヨウの巢立ち哉

最高裁 番犬走狗の首輪はめ

モリトモの検事走狗のケツぬぐい

NHKアベチャンネルで 身をひさぐ

※ 三竦み 忖度いたくひねこびて

※三すくみ。太鼓持そんなくありて馴れ姿。ここではなめくじ、蛇、蛙などは出てきません。

よりそわれ身の毛よだつ癖がつき

金メダル 長距離ランナー[※]デブリかな

五輪相 こけたメダルに咬みつかれ

無礼ゾナ ひさしき遺産口を利き

死刑台 めくら三人ボタン押す

※「デブリ」はてもなく走りつづける核の落し子(溶解物)。

アベ語録 恥の一途に汗を噴く

身をとらうムツキ一枚ひるがえり

分けありの原発ヨメ入り破談して

ネコパンチ北のロープでタオル投げ

化けの皮 身包み剥いで昇天し

片むすび 密約ありて核置くや

星一つ 星条旗にこびりつき

あとのない氷のカベと砂のクイ

核の傘 かざし踊るや被曝国

指折りの外交なきも 万歩計

あやかしの船火焚きたりウミボウズ[※]

列強にたかりて番^{っが}う 有志国

ホメネイの説法耳朶にヤケドして

千一夜 もしやカシ[※]ヨギ氏筆執るや

ホルムズの波たかくしてペルシヤ湾

※あやかしは海上にあらわれる妖怪変化。海坊主も悪さをする一味。

※カシヨギ氏は皇太子とその配下によって謀殺されたと言われる、サウジ・アラビアのジャーナリスト。

負の遺産 史ふみつくろいて国亡ぶ

地獄路 旅のお伴はデブリかな

寸鉄の一切※なりゆき ヒ首ひしゅなきや

絞首刑 浮游オオムに首つ丈

対半島トラウマやけに牙を向け

※樹木希林の生きさま、死にさま。俗世を生きた不断着の女アナキスト。
ヒ首は、ふところふところに忍ばせる剣の爪。

たぶれし世 磁場にかたまる砂鉄哉

ニュートラル人工知能がカジを切り

足のない 妖怪のせるモノレール

AIの悪魔の兵器 牙を研ぎ

AIの指紋ふきとる 碁石哉

いかずちのみどりの劍つるぎかわず呑み

天皇制 秋水※の断ちおそれなし

青い目に首すげかえて 菊人形

皇国のヒコバエさわぐ 瘡かさの下

旭日旗のせて 救命ボートかな

※秋水||秋水は研ぎすまされた刀の意、秋水の名に重ね。断ちは太刀の語源。

あまつくに忌まじきものの
獄舎哉 ひとや

めしゅうどは古式の衣に搦め捕り

蒙古斑そまりしままに 菊の紋

文子^{*}の死 ひとや調べるセレナーデ

※明治生まれの烈女、金子文子。朴烈とともに皇太子(ヒロヒト)暗殺の大逆罪に問われ死刑判決。恩讞を破り捨て自らなつた麻縄で自死。天皇制に死を、背理なき言挙げなりや。享年二十三歳。